

# 哲學研究

第一卷 第三冊

第三號

大正五年六月一日發行

繪畫に於ける自然性の價值……………文學士 植田壽藏

正義觀念の變遷……………文學博士 藤井健治郎

精神物理的法則(完結)……………文學士 千葉胤成

社會の本質に關する考察……………文學士 高田保馬

心能の相關研究上の一問題……………文學士 檜崎淺太郎

宗教的情操の内容及び基礎……………文學士 宇野圓空

彙報

新著紹介

京都市帝國大學文學科大學內

京都哲學會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓貳拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

### 書記

文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學士	中川得立
文學士	植田壽藏
文學博士	松本文三郎
文學士	深田武
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
實	方
嚴	治

の、は、その一葉、秋深う夕露暮れて、風無きにはるゝと散りつ  
 ……子をば生み子をば育て、愛へつゝ逝きける女、母よ今何處  
 におはす……」と歌つて、亡き母上に捧げられたと言ふ事に、老  
 ひたる母を持つ吾々は、美しい感傷的な共鳴を見出したのである  
 東京、洛陽堂發行。一圓四十錢。(續田詩媛)

### 寄贈書籍雜誌

佛敎心理の研究  
 論理學

稿 惠 勝著 丙午出版社  
 述 水 泥著 岩波書店

壯丁讀本  
 哲學雜誌、心理研究、丁酉倫理會講演集、東洋哲學、六合雜誌、  
 神學之研究、禪學雜誌、學校教育、教育、內外教育評論、普通教  
 育、小學研究、教育研究、教育學術會、教育界、東京教育、京都  
 教育時報、兵庫教育、奈良縣教育、靜岡縣教育時報、越後教育雜  
 誌、滋賀縣教育雜誌、岐阜縣教育、三重教育、愛知教育雜誌、長  
 崎縣教育雜誌、都市教育、信濃教育、宮城縣教育會雜誌、滿洲界

世界心國家心個人心 大島正徳著 內外教育評論社  
 滅び行く宇宙及び人類 兒 玉 昌著 洛陽堂  
 神人論 ソロウイヨフ著 全  
 田中義一著 寶文館

### 前 號 目 次

社會意識の成立	文學士 高田 保馬
普遍に就て	文學士 田 邊 元
精神物理的法則(承前)	文學士 千 葉 胤 成
社會的教育學の過去及將來(承前)	文學博士 小 西 重 直
學界近況—ユーベルエツヒ哲學史第四卷新版—リツケルト「認識の對象」第 三版	
彙 報—新著紹介	

## 京都哲學會員各位に謹告

弊館儀過る四月二十四日火災に罹り候爲め災後の整理假營業所の設定・移轉等各種の用務一時に輻輳致し自然『哲學研究』の發送其他に手違を生じ候のみならず罹災の際該誌郵送用帶封の一部分紛失致し候等の關係上往々該誌延着・不着の趣承り及候混雜中とは申しながら誠に申譯なき次第何卒特に御寛恕を賜はり度候

曩日既に夫々調査を了へ郵送上に關し疑ある分に對しては改めて郵送致し置候へども尙不着の分有之哉も難圖候就ては第一・二號の兩冊中萬一今尙御落手無之方有之候は、何卒此際郵稅先拂にて御一報被成下度奉願候  
尙々今後は十分注意可致候へども萬一不着の節は御手数數ながら當方へ御一報下され度候先は御詫旁右まで如斯に御座候頓首

東京市日本橋區本石町

六月一日

『哲學研究』發行所

寶文館

會 告

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪麥〇六六參番 京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、會費ノ領收證ハ特ニ差出サズ雜誌帶封上ノ「會費領收濟」ノ捺印ヲ以テ之ニ代ユル事ト致シ候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學  
文科大學内 京都哲學會  
振替口座大阪麥〇六六參番

定 價

冊	數	定 價	郵 稅
一冊	冊	金 貳 拾 錢	金 壹 錢
六冊(前金)	冊	金 壹 圓 貳 拾 錢	不 申 受
十二冊(前金)	冊	金 貳 圓 四 拾 錢	不 申 受

廣 告 料

一頁 金拾圓 半頁 金六圓

註 文 規 定

- 會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候
- 本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
- 振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候
- 前金切れの場合に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- 見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正五年五月二十八日印刷納本  
大正五年六月一日發 行 第三號 第一卷 第三册



編輯者 京都帝國大學文科大學内  
右代表者 寶 嚴 方 治  
發行者 大 葉 久 吉  
印刷者 青 柳 十 一 郎  
印刷所 秀英舍第一工場

發行所 東京日本橋區本石町三丁目  
(振替口座東京二八〇番) 寶 文 館

發賣元 東京市日本橋區本石町三丁目  
大阪市東區淡路町四丁目 寶 文 館

賣 捌 所  
(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館  
(京都) 寶文館 (神戸) 寶文館